

第5回 仁淀川水系流域治水協議会

議事概要

日時：令和3年3月23日(火) 14:00～15:00

場所：高知県立県民文化ホール 事務棟4階 第6多目的室

1. 出席者

- ・高知市長 岡崎 誠也
- ・土佐市長 板原 啓文
- ・いの町長 池田 牧子
- ・仁淀川町長 大石 弘秋
- ・佐川町長 堀見 和道
- ・越知町長 小田 保行
- ・日高村長 戸梶 眞幸
- ・高知県危機管理部長 堀田 幸雄 (代理出席：危機管理部副部長 竹崎 幸博)
- ・高知県農業振興部長 西岡 幸生 (代理出席：農業振興部副部長 杉村 充孝)
- ・高知県林業振興・環境部長 川村 竜哉
(代理出席：林業振興・環境部副部長 小原 忠)
- ・高知県土木部長 村田 重雄
- ・中国四国農政局地方参事官 増尾 学
(代理出席：高知南国高知整備事業所長 児島 学)
- ・四国森林管理局嶺北森林管理署長 福吉 修二
- ・森林整備センター高知水源林整備事務所長 木立 英一
- ・高知地方気象台長 佐伯 亮介
- ・四国地方整備局大渡ダム管理所長 市原 道弘
- ・四国地方整備局高知河川国道事務所長 多田 直人

2. 議事

事務局より、規約の改定、「物部川水系における流域治水の推進方針(案)」について説明し、合意を得た。

○(高知市)

高知市が作ったハザードマップでは、仁淀川左岸の春野で破堤した場合、土地の高低差の関係で、仁淀川から水が入って海岸線まで一挙に浸水する。国土強靱化で5カ年の非常に大きな予算が閣議決定していることを活用し、破堤させない対策をとることが非常に重要だと考えている。

○（日高村）

1000年に1度の災害となると、神母樋門が流され上流まで水が入ってきて、役場では10mくらいの浸水となる。そうなる逃げるところがほとんどなく、日高村においては避難場所と避難経路が課題である。今後、避難対策についても検討していきたい。

堤防が破堤しないようにという取り組みでは、神母樋門や堤防の一部低いところの補強をお願いしたい。

平成26年出水対応については国、県に日下川新規放水路の建設や河川改修を実施していただき、村としても輪中堤や排水ポンプの設置などできる手は打った。

残りは日高村の「水害に強いまちづくり条例」であるが、この運用に当たっては国、県にお力添えをいただきたい。今後、特定都市河川浸水被害対策法の内容によっては村の条例自体も変えていかなければならないと考えており、そういった調整もお願いしたい。

以上